

衆議院安全保障委員会ニュース

平成 24.6.15 第 180 回国会第 5 号

6 月 15 日（金）第 5 回の委員会が開かれました。

1 国の安全保障に関する件

- ・森本防衛大臣、齋藤内閣官房副長官、渡辺防衛副大臣、神風防衛大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

橘 秀 徳君（民主）

- ・現在の東アジア情勢についての森本防衛大臣の認識を伺いたい。また、活発化する中国の海洋活動に対応するためにも、米国との二国間協力に加え、多国間協力を進める必要性について、森本防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・6 月 14 日に米フロリダ州の米軍基地内で空軍仕様の CV22 オスプレイが墜落した事故について、最新の情報及び当該事故が沖縄県普天間飛行場へ海兵隊仕様の MV22 オスプレイを配備する計画に与える影響について、森本防衛大臣の認識を伺いたい。
- ・本年 5 月に行われた米軍厚木飛行場における米空母艦載機離発着訓練に際し、当該訓練の通報が訓練開始の前日夜にあったことや訓練実施の時間帯が大幅に延長されたことを踏まえ、同訓練が実施される可能性が出てきた時には暫定的な情報でも地元に至急通報する体制を整えるとともに、同訓練の運用改善をお願いしたが、森本防衛大臣の見解を伺いたい。

今 津 寛君（自民）

- ・森本防衛大臣は、これまで民主党政権の安全保障政策に対し厳しく批判してきたにもかかわらず、同政権の大臣就任を決意した理由について伺いたい。また、安全保障政策において、森本防衛大臣が今後特に推進していくべきと考える分野について、併せて伺いたい。
- ・内閣府の「自衛隊・防衛問題に関する世論調査」等が示すように、我が国は若年層を中心に、国を守るという意識が諸外国と比較して低いと言われるが、教育の場等において、こうした意識を高めていく必要性についての森本防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・東京都の尖閣諸島購入計画を批判した丹羽駐中国大使の発言に対する森本防衛大臣の認識を伺いたい。また、東京都が調査を目的とした当該諸島への上陸を申請した場合の政府の対応について、齋藤内閣官房副長官の見解を伺いたい。

岩 屋 毅君（自民）

- ・森本防衛大臣は政治的基盤を有しない民間人大臣であるため、対外交渉、対国内交渉に強いリーダーシップを発揮し得ない懸念があるが、自身の交渉力に対する森本防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・森本防衛大臣は、「任期中、集团的自衛権の考え方を変更する考えは毛頭ない」と大臣就任前の主張とかけ離れた発言をする一方で、6 月 13 日の参議院予算委員会の答弁では「同盟関係を拡充する観点から、この問題をどう扱うのが正しいのか、野田総理に率直に意見を申し上げようと考えている」と述べているが、今後そのような働きかけをする予定はあるのか、同大臣に伺いたい。
- ・森本防衛大臣は大臣就任前、自衛隊による国際平和協力の一般法制定や自衛隊による邦人救出を可能にする必要性について述べているが、PKO 法改正を含めた一連の自衛隊による国際平和協力等のための法整備を進めると考えてよいか、同大臣に伺いたい。

東 順 治君（公明）

- ・森本防衛大臣は就任前、2 月 16 日付産経新聞において、在沖海兵隊のグアム移転により南西方面の抑止力は減殺されるとしているが、現在もその認識に変わりはないか、また、米軍再編により、抑止力を低下させないという政府の方針と矛盾しないのか、森本防衛大臣に伺いたい。
- ・石原東京都知事が尖閣諸島を購入後に計画していると述べた同諸島に無線基地等を設置する計画が実施された場合の同諸島を含む南西方面における安全保障環境の変化や変化した場合の我が国の防衛体制の在り方についての森本防衛大臣の認識を伺いたい。
- ・本年 4 月 11 日にモロッコで MV22 オスプレイが、6 月 14 日には米フロリダ州で CV22 オスプレイが墜落事故を起こしたが、MV22 オスプレイの普天間飛行場への配備計画に変更はないのか、森本防衛大臣に伺いたい。

赤嶺政賢君（共産）

- ・本年4月11日のモロッコにおけるMV22 オスプレイ墜落事故及び6月14日の米フロリダ州におけるCV22 オスプレイ墜落事故を踏まえ、MV22 オスプレイの沖縄への配備計画は白紙に戻すべきと考えるが、森本防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・政府はこれまでオスプレイの事故率についてMV22 オスプレイのみを対象としてきたが、CV22 オスプレイの事故も含め公表すべきと考えるが、森本防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・普天間飛行場に関しては、1996年に日米間で航空機騒音規制措置に関し合意をし、夜間飛行について制限しているにもかかわらず、米側が作成した「MV22 オスプレイの普天間飛行場配備及び日本での運用に関する環境レビュー最終報告」では、現在よりも夜間の飛行回数大幅に増えるとされているが、過去の日米合意について米側はどのように考えていると、防衛省は認識しているのか伺いたい。

照屋寛徳君（社民）

- ・沖縄へのMV22 オスプレイ配備について、藤村官房長官は「事故原因がわからない限り何ら行動を起こさない」と発言する一方で、森本防衛大臣は「分からない事故原因を基礎に、今までの配備計画をすぐに変更する客観情勢にない」と述べ、閣僚間で意見が矛盾していると思われるが、森本防衛大臣の認識を伺いたい。

- ・森本防衛大臣は6月4日の記者会見で普天間飛行場移設問題について辺野古案が最善である旨述べているが、6月10日の沖縄県議会選挙の結果を受け、その考えに変更はないのか。また、仲井眞沖縄県知事をはじめ、多くの沖縄県民が反対する中、辺野古への移設が本当に可能と考えているか、森本大臣の認識を伺いたい。
- ・本年2月に沖縄県金武町で発生した在沖海兵隊員による器物損壊事件に関し、海兵隊側が被害者を交番に呼び出し示談を迫ったことについて、森本防衛大臣の所見を伺いたい。また、示談交渉に交番が使用されたは適正であったのか、警察庁の見解を伺いたい。

渡辺義彦君（きづな）

- ・敵基地攻撃に関し、野田内閣総理大臣は4月18日の予算委員会で、有事の際の敵基地攻撃は米国が行うため、現時点で我が国が当該能力を保有することは考えていない旨発言しているが、我が国が敵基地攻撃能力を持つ必要性について、森本防衛大臣の見解を伺いたい。また、有事の敵基地攻撃を米国に委ね、持つことの是非を検討もしないというのは無責任ではないのか、森本防衛大臣に伺いたい。
- ・航空自衛隊の次期戦闘機に選定されたF35Aの納入が遅れた場合に備え、納入が可能となるまでの間の代替として、別の機種を選定しておく必要性について、森本防衛大臣の見解を伺いたい。